

【電子版】



2026年 第3号 2026年2月16日

発行：自交総連本部

〒110-0003 東京都台東区根岸2-18-2-201

tel. 03-3875-8071

fax. 03-3874-4997

メール [info@jikosoren.jp](mailto:info@jikosoren.jp)

ホームページ→



見 解

## 「戦争する国づくり」に道をひらく

2月8日におこなわれた衆議院選挙の結果を受けて、自交総連は、以下の見解を示しました。

全国自動車交通労働組合総連合会  
石垣 敦 副中央執行委員長

## 衆議院選挙結果の見解

2月8日におこなわれた総選挙は、自民党の圧勝となりました。

高市首相による自己都合解散・総選挙の結果です。高市首相は、物価高騰に手を打てず、米トランプ大統領の力の支配をふりかざす数々の無法に一言の抗議もできず、内政も外交も深刻ないきづまりの中で、首相自身の「政治とカネ」の問題や統一教会と自民党との癒着の追求をおそれ、高支持率のうちに解散を強行しました。しかも、真冬のもっとも困難な時期に。

選挙戦は、きわめて短期間であり、首相は論戦からにげ、自分に対する信任を問うという、民主主義の重大な根幹をなす選挙を否定するものでした。

これを助けたのが中道改革連合でした。安保法制合意、原発再稼働容認を表明し、自民党にすりよりました。

この選挙の結果、「戦争国家づくり」を進める勢力が圧倒的多数になり、憲法改悪がさげばれています。同時に、私たちのくらしや権利が侵害される危険が強まっています。

私たちは、こうした時だからこそ、自交総連の綱領の原点に立ち返り、「労働条件の維持、改善と、経済的、社会的地位の向上を図るとともに、日本の平和、独立、中立、民主主義確保のため」いっそう闘いを強めることが必要です。

ともに、がんばりましょう。

以 上